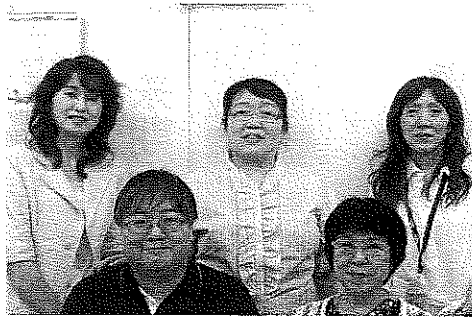


高齢者施設・住宅入居者の医療依存度が高まっている。それはこれまで医療的ケアが必要な高齢者の入居を想定してこなかったグループホームでも同様だ。こうした中、バナナ園グループ(神奈川県川崎市)のグループホームでは医師・薬剤師・訪問看護師の連携により医療的ケア・ターミナルケアを提供している。その取り組みについて話を聞いた。

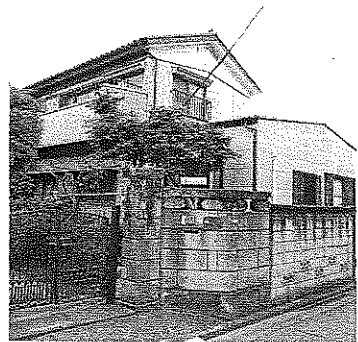


▲前列左より、ひろクリニック大塚副院長大塚史郎、川崎大師バナナ園津田子介理事長、後列左より、訪問看護ステーションるるる川崎若子看護師、川崎大師バナナ園藤澤江理恵、ファーストあい薬局池本文管理薬剤師

9人中4人が医療的ケアが必要な状態にあり、そのうち4人が医療的ケアを必要としている。その生活が厳しい状況になっているなど、入居者の医療依存度が高くなっているのが運営上の課題だ。原幸江管理責任者が語る。

グループホームで終末期医療

昨年から3件看取り



▲川崎大師バナナ園外観

「本来はグループホームではないが現実です。医療でこうしたニーズに対応。京都府出雲の鈴木瑞史(東)は共同生活の場です。の必要な入居者をサポートしてきた。6年前より医師が担当している。しかし、その体制をどう構築するかは、医師の訪問だけでは難しい。原幸江管理責任者が語る。

超高齢社会の相続対策

実際の負担者が誰かで扱いに差



新協賛会計事務所 税理士 北山 千佳子

第1回 有料老人ホームの入居一時金について

「相続」といふ言葉から、「相続なんてそんな不幸なこと考えたくないなあ」「相続のことで悩まされてまた辛い」「そんなお考えの方が多いのではないかしら」と話題の入居一時金を取り上げていきます。

未償却の入居一時金は相続財産

「相続」といふ言葉から、「相続なんてそんな不幸なこと考えたくないなあ」「相続のことで悩まされてまた辛い」「そんなお考えの方が多いのではないかしら」と話題の入居一時金を取り上げていきます。

介護・福祉

「相続」といふ言葉から、「相続なんてそんな不幸なこと考えたくないなあ」「相続のことで悩まされてまた辛い」「そんなお考えの方が多いのではないかしら」と話題の入居一時金を取り上げていきます。

「相続」といふ言葉から、「相続なんてそんな不幸なこと考えたくないなあ」「相続のことで悩まされてまた辛い」「そんなお考えの方が多いのではないかしら」と話題の入居一時金を取り上げていきます。

「相続」といふ言葉から、「相続なんてそんな不幸なこと考えたくないなあ」「相続のことで悩まされてまた辛い」「そんなお考えの方が多いのではないかしら」と話題の入居一時金を取り上げていきます。